

平成25年度第2回産業衛生技術部会企画委員会 資料

日時：平成25年7月27日(土) 午前11時半～

出席予定(敬称略、順不同)：加藤隆康、名古屋俊士、大西明宏、原邦夫、中村憲司、中元健吾、中明賢二、落合孝則、村田克

(欠席：山野優子、田中茂、橋本晴男、近藤充輔、宮内博幸)

添付資料：前回議事録、日本産業衛生学会表彰制度規定及び各選考細則

報告：

・第86回日本産業衛生学会会期中行事

1. 平成25年度第1回産業衛生技術部会幹事会の開催

平成25年5月16日(木) 12:00～13:00 ひめぎんホール別館1階第12会議室

2. 第16回産業衛生技術専門研修会の開催

平成25年5月16日(木) 13:00～15:00、ひめぎんホール別館1階第13会議室

テーマ：個人ばく露測定の実用性について

座長：中明 賢二 (麻布大学)

1) 「個人ばく露測定に関する近年の国内の動き」 山田 憲一 (中央労働災害防止協会)

2) 「産業衛生技術部会個人ばく露測定検討委員会の中間報告」 橋本 晴男 (EMGマーケティング)

3) 「欧米の実施手法の実例」 中原 浩彦 (EMGマーケティング)

3. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成25年5月17日(金) 14:30～16:30、ひめぎんホール3階第6会議室

テーマ：高齢労働者の転倒災害防止を考える～65歳現役社会を迎えて～

座長：加藤 隆康 (グッドライフデザイン)

1) 「体力低下に伴う労働災害の予防についての包括的取り組み例の報告～転倒予防・筋骨格系疾患対策・復職支援～」 乍 智之 (JFEスチール)

2) 「高齢労働者の転倒災害防止のための身体機能改善プログラム」 川越 隆 (愛知医大, 東海ゴム工業)

3) 「転倒災害防止のための高齢労働者の作業管理」 岩根 幹能 (和歌山健康センター)

4) 「高齢労働者の転倒災害防止に有効な手段とは」 大西 明宏 (労働安全衛生総合研究所)

4. 産業衛生技術部会総会の開催

平成25年5月17日(金) 16:30～17:00 ひめぎんホール3階第6会議室

産業衛生技術部会奨励賞(中明賞)授賞式: 原 邦夫 (帝京平成大 教授)

・産業衛生技術部会会員数：357名 (平成25年5月8日現在)

議題：

1. 部会幹事会、大会、専門研修会の開催について

第23回産業医・産業看護全国協議会(平成25年9月25日(水)～28日(土)、名古屋国際会議場)の同時期に同会場で開催(技術部会行事については参加費無料)。なお4部会合同セミナーおよびリレーワークショップについては従来通り他部会と共催する。

(1) 平成25年度第2回産業衛生技術部会幹事会

日程：平成25年9月27日(金) 13時～14時

(2) 産業衛生技術シンポジウム(第22回産業衛生技術部会大会)

日程：平成25年9月27日(金) 14:00～17:00

テーマ：化学物質管理

(3) 第17回産業衛生技術専門研修会

日程：平成25年9月26日(木) 18：00～20：00

テーマ：産業現場における呼吸用保護具

- ・講義1：田中茂（十文字学園女子大）「産業現場における呼吸用保護具」
- ・講義2：中原浩彦（EMGマーケティング）「産業現場における呼吸用保護具使用の実際」
- ・実習＝フィットテスト研究会によるフィットテスト実習

2. 講師派遣費用について（田中茂先生）

「当初はなかなか依頼が来なかったのですが、最近は年間2件程度の依頼でしたので、委員会活動費として4万円/年間 頂いていたため、2万円/講師一人払っていました。去年は4件あったので、4万円の超過となりました。また、中災防の河合先生から、講師中災防に2万円支払ってくれという事例もありました。事務局の会計としては、以上であります。

中災防の全国衛生管理者協議会ニュース（四半期に一回メール発行）（抜粋）

.....

【特記：※社団法人 日本産業衛生学会からのお知らせ】

（※社団法人日本産業衛生学会とは、産業衛生の進歩を目的に、産業衛生に関する研究会等の開催や調査研究、機関紙の発行などの事業を行っている学会である。詳細は→<https://www.sanei.or.jp/>）

～ 講師派遣について ～

全国衛生管理者協議会は、（社）日本産業衛生学会にご協力いただき、会員である衛生管理者協議会が行う研修会等に、日本産業衛生学会に所属する専門家で当該研修会に適した方を無料で派遣していただくこととしています。ぜひ、積極的にこの事業を活用してください。

ご相談、ご依頼等問い合わせは、以下、担当者までメールでご連絡ください。

担当者：田中 茂（十文字学園女子大学、stanaka@jumonji-u.ac.jp）

.....

上記ニュースで記載のごとく無料で派遣するとのことですので、先方から講師に全く出さないところや、交通費として講師に1万円や2万円払うところがあるようです。講師との機関とのやりとりで、事務局としてはわからないのです。

今年度の派遣は、中災防の武田様をご配慮して頂き、添付の4件の依頼を受け、講師とのやり取りをしております。その際の委員会としての講師への支払いについてご指示を頂ければと思います。 田中茂」

今年度講師派遣一覧（2013.7/23現在）

団体名	開催日	テーマ	氏名	所属
千葉県労働基準協会連合会	8月19日	「実践から学ぶ衛生管理者」のテキスト 衛生管理者の職務	神津 進	HOYAグループ 環境・安全衛生G
奈良県労働基準協会			瀧口 好三	新日本製鐵(株) 広畑製鐵所 安全環境防災部 安全衛生グループマネジャー
栃木県労働基準協会連合会	8月30日	実践から学ぶ衛生管理	小沼 博子	(株)トッパンコミュニケーション プロダクツ 総務部 主任
京都衛生管理者協議会 京都労働基準連合会	10月4日	健康診断とその事後措置 －衛生管理者と産業医の役割について	瀧口 好三	同上

（参考）関東地方会例会（来年2/8は関東産衛技術部会が担当）の講師謝金（地方会事務局長 与五沢先生）
・講師謝礼は30000円/60分講演（産衛会員、非会員にかかわらず）だが、源泉所得税と、さらに本年度より復興特別所得税がかかるため、謝金金額としては30070円というかたちで領収書を切り、そこから源

泉所得税と復興特別所得税を込みで引いて、手取り分27000円を講師の先生方にお支払いする。(60分未満の場合も同様に計算)

・座長の先生は5000円なので、これも同様に計算し、5011円から源泉所得税と復興特別所得税を込みで引き、手取り分4500円を座長の先生にお支払いする。

・参加者から集めた参加費を謝金にまわせるか：参加費は全額、参加登録料収入として、関東地方会の事業収入として全額徴収するので、参加費を謝金にまわすことはできない。また例会開催助成金15万円からの足し前も、税法上の処理の問題でややこしくなるので、できるかぎり避けて欲しい。講師謝金及び産業医研修会シール代、会場費、案内ハガキの作成・発送費については、開催準備金15万円とは別に、地方会事務局よりの支出となる。

3. 日本産業衛生学会功労賞推薦について

(添付資料参照)

4. 産業衛生技術フォーラム、第18回産業衛生技術専門研修会の開催について

来年春の第87回日本産業衛生学会(2014年5月21日～24日、岡山コンベンションセンター)において開催。田口豊郁先生(川崎医療福祉大、中国地方会担当幹事)に協力を要請。

テーマ案：

5. その他

過去の部会大会および専門研修会、産業衛生技術フォーラム（平成22年度～）

部会大会

- 第19回「産業衛生分野における現在の人間工学の役割」平成23年1月22日(土) 13時-16時 早大西早稲田キャンパス
労働衛生における人間工学的課題=城内博(日大) 椅子作りと人間工学=八木佳子(イトーキ) 高年齢労働者の転倒災害と防止対策=大西明宏(安衛研) safety managementにおけるヒューマンファクター=小松原明哲(早大)
- 第20回「産業衛生技術の10年とこれから」平成23年12月10日(土) 13時-16時 早大西早稲田キャンパス
産業衛生技術の10年とこれから=中明賢二(麻布大) 第三次産業の安全衛生の現状と対策=宮内博幸(産業保健協会) 呼吸用保護具の防護性能と実際の使用=粉川昇市(重松製作所) 呼吸用保護具の防護性能と実際の使用～企業における実際=中原浩彦(エクソンモービル) 放射線、放射能の測定と管理=山田憲一(中災防)
- 第21回「改めて腰痛を考えよう」平成24年11月23日(金・祝) 14時-17時 東京工科大 蒲田キャンパス
福祉・医療職場における作業関連性運動器障害の現状と課題=埴田和史(滋賀医大) 腰部負担軽減を目的とした継手付き体幹装具Trunk Solutionの開発と評価=勝平純司(国際医療福祉大) 腰痛に対する新しいエクササイズ=齋藤昭彦(杏林大)

専門研修会

- 第10回：平成22年5月27日(木) 15時半-17時 福井県国際交流会館
職場における化学物質管理の今後の動向について=名古屋俊士(早大)
- 第11回：平成23年1月22日(土) 10時-11時半 早大西早稲田キャンパス
人間工学=大橋信夫(労研)
- 第12回：平成23年5月19日(木) 14:45-16:55 シーサイドホテル芝弥生
企業経営リスクと産業衛生=加藤隆康(グッドライフデザイン)
- 第13回：平成23年12月10日(土) 10時-12時 早大西早稲田キャンパス
安全衛生の投資対効果=小澤正彦(損保ジャパン)
- 第14回：平成24年5月31日(木) 9時-11時 名古屋国際会議場
作業用履物に適した安全靴・プロテクティブスニ

ーカーの基礎=林辰男(シモン) 医療従事者と靴のあり方=笠井一治(ミドリ安全) 転び災害防止と安全靴・作業靴の耐滑性能=永田久雄(労研)

- 第15回：平成24年11月24日(土) 9時半-11時半 東京工科大 蒲田キャンパス
実用上のガイドとなる個人ばく露測定の方法の検討について=橋本晴男 (EMGマーケティング) 有機溶剤職場における胆管癌発症について=熊谷信二(産医大)
- 第16回：平成25年5月16日(木) 13時～15時 ひめぎんホール別館
個人ばく露測定に関する近年の国内の動き=山田憲一・中災防 産業衛生技術部会個人ばく露測定検討委員会の中間報告=橋本 晴男・EMGマーケティング 欧米の実施手法の実際=中原 浩彦・EMGマーケティング

産業衛生技術フォーラム

- 平成22年5月28日(金) 14時半-17時 福井県国際交流会館「化学的環境-リスク管理とリスク軽減-」ホルムアルデヒドを含む化学物質のリスク管理=河合俊夫(中災防大阪) 化学物質と神経障害=松岡雅人(東京女医大) 化学的環境のリスク軽減=谷井秀治(金沢大)
- 平成23年5月20日(金) 15時-17時 ホテルアジュール竹芝「企業経営リスクとしての産業衛生を考える」=小澤正彦(損害保険ジャパン)、安福慎一(新日鐵)、原邦夫(帝京平成大)、野口和彦(三菱総研)
- 平成24年6月2日(土)13:40-16時半 名古屋国際会議場「産業衛生技術者の役割と期待」より合理的な化学物質管理に向けて=半田有通(厚労省) 労働衛生管理における衛生管理者の役割-産業医の立場から-=中元健吾(日本ガイシ) 除染作業者の曝露リスク=村田克(早大)
- 平成25年5月17日(金)14:30～16:30 ひめぎんホール「高年齢労働者の転倒災害防止を考える～65歳現役社会を迎えて～」
体力低下に伴う労働災害の予防についての包括的取り組み例の報告～転倒予防・筋骨格系疾患対策・復職支援～=乍 智之(JFEスチール) 高年齢労働者の転倒災害防止のための身体機能改善プログラム=川越 隆(愛知医大、東海ゴム工業) 転倒災害防止のための高年齢労働者の作業管理=岩根 幹能(和歌山健康センター) 高年齢労働者の転倒災害防止に有効な手段とは=大西 明宏(安衛研)